

【地方創生推進タイプ】

No.	交付対象事業、事業実施内容	交付対象事業費 (円)	交付金充当額 (円)	重要業績評価指標 (KPI)				評価、意見	今後の方針
				評価指標	単位	目標値 (R5)	実績値 (R5)		
1	<p>【交付対象事業】 江南市地域交流センター発「全世代・全員活躍のまち」推進事業 (地方創生推進タイプ) 1年目</p> <p>【事業実施内容】 地域交流センターを拠点に展開する各種業務を包括して業務委託する。</p> <p>①市民活動等支援業務 事業を行う民間等事業者と、既存団体、行政及び関係団体との関わりにおいて収集する地域課題の分析、市民活動団体等の活動に関する相談等を支援する。</p> <p>②地域人財の育成業務 まちづくりゼミナール、まちづくりフォーラムなど、定期的な研修機会の企画提供、高齢者へのパソコン・スマホ相談会の開催、若い世代の地域活動参画に係る企画をする。</p> <p>③交流機会の創出業務 施設内他機能(図書館・子育て機能など)と連携したイベントの実施(子育て世代の交流会、健康増進に関する交流会の提供など)、公民連携によるイベント等実施のための企業・教育機関との関係構築を図る。</p> <p>④情報の収集発信業務 関係人口の拡大や、地域コミュニティの維持、居場所、賑わい、生きがい及び住みやすさの創出に係るホームページ、SNS、施設内デジタルサイネージ等各種媒体での情報及び魅力発信をする。</p>	30,371,000	15,185,000	①江南市地域交流センターの利用者数	人	7,500	18,478	<p>(協働のまちづくり推進協議会にて効果検証)</p> <p>市民活動団体による発表などのイベントは、駅前広場を活用したイベントと合わせることで、KPI①②の達成に寄与すると考えられる。同施設内の多機能間との連携したイベントが少ないので引き続き調整を進めてほしい。</p>	<p>積極的にイベント、行事等をマッチングすることにより、相乗効果が得られるよう働きかける。</p> <p>また、イベント等の情報発信に加え、ニーズを探り、より多くの参加者、交流機会が創出できるよう取り組む。</p>
				②当該事業により実施したイベント等行事の参加者数	人	336	1,056		
				③地域コミュニティの団体数	団体	469	466		
				④市が市民活動団体(NPO、地縁団体等)、民間等団体及び教育機関と連携して実施する事業の数	件	73	74		

【デジタル実装タイプ】

No.	交付対象事業、事業実施内容	交付対象事業費 (円)	交付金充当額 (円)	重要業績評価指標 (KPI)				評価	今後の方針
				評価指標	単位	目標値 (R5)	実績値 (R5)		
2	<p>【交付対象事業】 こうなんタベマルシェ(フードシェアリングサービス タベスケ) (デジタル実装タイプ1)</p> <p>【事業実施内容】 食品関連事業者(協力店)と市民等(消費者)を、「食品ロスの削減」をメインテーマとしてマッチングさせるサービスで、専用サイト(タベスケ)を通して、廃棄直前の食品を安く売買することで、各主体が食品ロスの削減に貢献する。</p> <p>【フードシェアリングサービス(タベスケ)】 3主体(①協力店・②市民等・③自治体)がタベスケという専用サイトにそれぞれアクセスして、①協力店は廃棄になりそうな食品を安く出品する。②市民等は購入予約を行い、その後、実際に店舗に出向いて食品を安く購入する。③自治体は新規店舗の登録などのサイトの管理等を行う。</p>	352,000	176,000	①協力店舗登録数	登録数	30	21	<p>令和5年10月の運用開始に向け、市内飲食店約450件をリストアップし、電話営業および直接訪問を行うことで協力店舗登録につなげた。ただ、協力店舗のサービス利用(商品出品)が少なく、サービスの認知度も低いことからユーザー数も伸び悩んだことで取引が活性化せず、食品ロス削減の大きな効果は得られなかった。</p>	<p>イベント等での周知・広報を積極的に行っていくことでサービスの知名度を高め、ユーザー数を増加させる。また、市内飲食店へのアポなし訪問を展開することや、システム運営業者のG-Placeと連携し営業を行い、協力店舗登録数の増加や既存登録店舗へのアフターフォローを実施し出品につなげることで事業の活性化を図る。</p>
				②食品ロス削減量	キロ	180	17.6		
				③事業系可燃ごみの排出削減量	キロ	360	△ 31		
				④サービス満足度(協力店)	ポイント	2.8	3.375		